

令和5年度 第1回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和5年6月19日(月) 13:30 ~ 15:05

会議方法 対面会議(オンライン併用(Google Meet))

会 場 事務局棟3階 第1会議室

出席者 (学外) 江崎, 中島, 林田, 平井, 松本, 宮崎, 吉岡, 渡辺の各委員
(学内) 中島, 河田, 原田, 山口, 小嶋, 藪田, 坂本, 武中の各委員

陪席者 田中監事, 足立監事, 後藤副学長, 岡田副学長, 安延副学長, 川村副学長,
香川副学長, 岸本地域学部長, 景山医学部長, 坂口工学部長, 明石農学部長

<委員・陪席者の紹介>

議長より, 委員及び陪席者の紹介があった。

議長代理の氏名

議事に先立ち, 議長より, 議長代理の指名について, 第1順位を研究担当理事(河田理事), 第2順位を企画・評価担当理事(原田理事)とする旨発言があり, 承認した。

議事要旨の承認

前回(令和5年3月13日開催, 令和4年度第5回)の議事要旨を承認した。

議 題

1. 令和4年度決算

資料1に基づき, 令和4年度決算について, 貸借対照表及び損益計算書等により決算の概要の説明があり, 審議の結果承認した。

2. 国際乾燥地研究教育機構と乾燥地研究センターの統合改組について

資料2に基づき, 令和4年度国立大学法人運営費交付金(教育研究組織改革分)において採択された「乾燥地イノベーションを実現するための研究教育組織改革」にて, 令和6年度より「乾燥地研究センター」を「国際乾燥地研究教育研究機構」に統合する計画について説明があり, 審議の結果承認した。

— 委員からの主な発言 —

◇ 統合によるメリットについて質問があり, 現在全学部で120名強の教員が国内外の乾燥地科学研究を行っており, 研究組織を一元化することで戦略的・機動的な研究推進が可能となる点, 留学生教育における機構とセンターの一体化,

企業等との協創連携強化などが期待される旨回答があった。

- ◇ 大学全体として共同研究や教育を含めて行うという意味で機構の名前を付しているのだと思うが、わかりやすさでは「乾燥地研究センター」という名前を全面に出すのも一案ではないか、との発言があった。

3. 学長選考・監察会議委員の選出

資料3に基づき、経営協議会において選出された学長選考・監察会議委員の任期が令和5年3月31日をもって満了したことから、新たな委員を選出する必要がある旨を説明したところ、1名の委員より今回選出される学長選考・監察会議委員は、次期学長選考を取りまとめる必要があることから、これまでの経緯等を熟知されている前学長選考・監察会議委員6名に引き続き務めていただいてはどうかとの提案があり、審議の結果前委員に引き続き就任していただくこととした。

報 告

1. 令和5年度鳥取大学一般選抜（前期日程）の理科（物理基礎・物理）における入試ミスについて

資料4に基づき、令和5年度に実施した一般選抜（前期日程）における入試ミスに関する経緯及び今後の対応方針について報告があった。

— 委員からの主な発言 —

- ◇ 再発防止策の検討を含め、しっかりと対応をしてほしい旨発言があった。

2. 2023年度における国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況等の確認・公表について

資料5に基づき、「国立大学法人ガバナンス・コード」について、2023年度の適合状況等の確認及び公表に係るスケジュール案、7月上旬頃に委員に対して書面で意見照会を行う旨説明があった。

3. 令和4年度資金運用実績

資料6に基づき、令和4年度資金運用実績について報告があった。

4. 令和4年度就職状況等

資料7に基づき、令和4年度就職状況及び本学卒業生の県内定着状況について報告があった。

5. 令和5年度入試状況

資料8に基づき、令和5年度入試状況について報告があった。

その他

資料9に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。

資料10に基づき、令和5年度第2回を9月22日開催予定である旨説明があった。